No.	コース名	講座名	趣旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
1	現代の社会問題	動物との心地よい 暮らしのために		ペットを飼っている、飼いたいと思っている、動物が好きな人。40~60代、女性の方が多そう	霜鳥
2	現代の社会問題	MBAエッセンシャ ル	ビジネススクール(経営大学院)で開講している組織運営に関する講座のエッセンスを体系的かつコンパクトに学ぶコース。企業戦略論に基づく分析フレームワーク、組織行動学に基づく人材の管理と育成、マーケティング理論に基づく製品戦略構築とブランディング、会計・財務の基礎と事業計画書作成における留意点などを網羅する。MBAに関心を持ちつつも地理的・時間的・経済的に実現が難しい方々に役立てていただきたい。昨今e-learningなどにより実現しやすくなったとはいえ、対面での授業ならでは刺激に加えて、自己啓発意欲の高い参加者同士の協働の学びや異業種交流による刺激も期待される。	している方、すでに会社を 興していて、さらに発展させ たい方など(商工会議所の	富永委員
3	現代の社会問題		少子高齢社会では年金はどうなるの? 貯蓄から投資と言われるけれど、投資の種類やリスクは? 家計の見直しのポイントは? ライフイベントにかかる費用は? など、将来設計のためのお金に関するいろいろを取り上げます。人生100年時代といわれる中、健康で快適な暮らしの実現のため、お金のことについて考えてみましょう。	対象世代は特にありません	中村 (恵) 委員
4	現代の社会問題	コロナ対応からみ るアジアの多様性	新型コロナウイルス感染拡大はアジアの新興国・途上国の政治や経済、社会にどのような影響を与えたのでしょうか。本講座では、各国政府によるコロナ対応に着目し、それに対する国民の反応や、それがどのような結果を招き、国ごとにどのような違いが生じたのかを、各国の専門家が解説します。	アジア諸国の動向に関心を 持つ一般の方々	<b>山田</b> 委員
5	現代の社会問題 生命・自然科学	老化の科学と抗加 齢対策	人口の高齢化の実態と問題点を明らかにする。生命科学的、社会的観点から老化現象を明らかにし、現在可能な抗加齢手段と、社会福祉的な側面も含めてフレイル・認知症対策の現状と課題、未来の抗加齢 医学を学ぶ。	中・高年	成田 委員
6	現代の社会問題 新潟学 生命・自然科学	気候学・気象学から見た現在と将来 への備え	地球温暖化の加速やマイクロプラスチップが南極で発見されるなど、地球規模での大きな変化が起こっています。それが新潟市にどのような影響を与えるのか。私たちはどのような備えが必要なのかなど、気候学や気象学から見た現在と将来像、将来への備えなど、地球規模から見た新潟市を考えていきます。	高校生~高齢者世代	中村 (美) 委員
7	現代の社会問題 新潟学	SDGs(持続可能 な開発目標)入門	今年5月、新潟市はSDGsの達成に向けて優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」に選定されました。しかし一方で、都道府県別の2021年SDGs総合認知度ランキングによれば、新潟県は42位と下位に位置しており、SDGsが市民の間に十分に浸透しているとはいえません。本講座は、SDGsについて気軽に学ぶ機会を市民に提供することで、SDGs未来都市としての機運を醸成し、SDGs達成に向けた意識の変化と行動の変容を促します。	SDGsに関心をもつ社会人・ 学生(とくに若年層)	山田 委員

No.	コース名	講座名	趣旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
8	人間理解	日常生活に役立つ様々な心理学	「人はどのような場合にやる気が出たり、失ったりするのか」「人は何故、買う気がなかったものを買ってしまうのか」「人はなぜ理屈に合わない意思決定をするのか」「人は何故怒るのか」など、いずれも心理学領域における知見により説明することができる。学術的な解説だけでも興味ある内容だが、日常的に経験していること、もしくは注目されていることが意外と心理学理論を活かしたものであることい気づくことで、人間理解を深めるきっかけになることを期待する。	部下を持つ上司、子育て中の母、対人コミュニケーションに何らかの課題意識のある人など	富永委員
9	人間理解 生命・自然科学	践~体によい食事	食事の好みは様々とはいえ、好きなものを好きなだけ食べていると、塩分摂り過ぎ、糖質摂り過ぎ、エネルギー摂り過ぎといった状況になりかねない。そうした大人の食習慣は子ども達にも影響を与えていることを踏まえ、本コースでは国民健康栄養調査データから伺える現代人の食習慣の課題を踏まえた全世代対応の「食育」の浸透、「食事栄養リテラシー」の向上を目指す。栄養学、調理学、食品学の基礎をバランスよく学ぶとともに、日常でも実践できるレシピ、外食や中食でのメニューの選び方などについても知識を得る。	30代~60代の主婦、ダイ エットや健康的な食事に関 心のある若い女性、一人住 まいの男性など	富永委員
10	人間理解 新潟学	食とアート	人々の欲の中で、世代を超えて大きな存在は、食欲であろう。この食欲を満たさせる要件には、味は勿論だが、視覚的な要素、演出手法、心地よい空間で嗜む仕掛け等の様々なテクニックが関与している。本講義では、芸術性(アート)とか関わった食にピントを定め、事例を紹介しつつ豊かな食が存在する新潟での可能性を探る。	対象年齢、世代は問わない	橋本委員
11	新潟学	もっと知りたい! 新潟の「酒」	新潟=日本酒のイメージだが、全国第一号地ビール誕生の地だったり、全国的にも注目を集めるワイナリーリゾートがあったり、異業種参入でウイスキー醸造を始める企業があったりと、日本酒以外の酒でも十分アピールできる土地だと思う。以前も日本酒にまつわる講座が人気だったとのことなので、日本酒に加え、それ以外の酒にも範囲を広げて講座を展開。それぞれの酒の魅力や新潟という土地とのかかわり、そしてこれからの展望などを、作り手や研究者などから聞き、知識を深める。	若い世代からご年配までお 酒が好きな人	電和表質
12	新潟学	世界に誇る新潟	おいしいお米と水から生まれる日本酒、「生きた宝石」「泳ぐ芸術品」とも呼ばれる錦鯉、世界が認めるジャパンクオリティのカトラリー(ナイフ・フォーク・スプーンなどの総称)、国の重要無形文化財に指定されており、染織部門としては日本で初めてユネスコ無形文化遺産代表一覧に登録された「小千谷縮」「越後上布」、新潟を拠点に躍動するNoismや鼓童など、新潟には、世界に誇るものがたくさんあります。世界から新潟のよさを再発見しましょう。	対象世代は特にありません	中村 (恵) 委員

No.	コース名	講座名	趣。旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
13	人間理解	まちとデザイン	身の回りにさまざまなデザインがあふれている。「デザイン」はまちや私たちの暮らしにどんな影響を与えているのか。ロゴデザインやグッドデザイン賞受賞作品などの目に見えるデザインはもちろん、アールブリュット、ユニバーサルデザイン、ソーシャルデザインまで。どんなデザインがあるのか、どんなデザインが「いい」のか。まちを元気にするデザインを学ぶ。	30代までの若い世代	霜鳥
14	新潟学	まちを楽しむ「目線」講座	自分の町を楽しむ様々な「目線」(路地・地形・道・歴史・境界・植物・トマソン)がある事に気づく講座。(※講師※ 路地連新潟・東京スリバチ学会・ドンツキ協会・境界協会・路上園芸学会)	まちあるきを更に楽しみた い人々、観光関係者	野内委員
15	人間理解 新潟学	地域の賑わい、その仕掛け	令和4年、コロナ禍で一年延期された大地の芸術祭が開催された。このアートプロジェクトは、近年、各地で取り組まれている地域の賑わい創出、実社会における提言を含んだ様々な催しにの基軸になったアートプロジェクトである。本講義では、様々な角度から地域の賑わい創出に関わった人々をお呼びして地域活動の意義や、その仕掛けの物語について学ぶ。	対象年齢、世代は問わない 地域づくり、街づくりに関心 を持った方々	橋本 委員
16	新潟学	まちの変革者に聞 く 本屋さん・古着屋 さん・ゲストハウス	新潟市内では文字離れが叫ばれる中で小さな個性的な本屋さんが増えてきています。また、リサイクルが浸透する中で古着屋さんが増えてきています。さらに、伝統的建造物を生かすなどの理由もありゲストハウスが増えてきています。 なぜ開業するに至ったのか、開業する際にどうしてそのまちを選んだのかなど、その方を突き動かした想いに触れ、まちへの思い、開業するまでの経緯などを知り、開業することやその方の生き方などを学びます。	どの世代でも興味を持たれた方ならだれでも 特に若い世代、高齢者世 代	中村 (美) 委員
17	新潟学	新潟の今までとこ れから	新潟の歴史・地勢を学び、それに基づく現在の特色・課題を明らかにする。その上で、世界や日本全体の 社会・人口構造変化の中で、新潟の今後の展望、あるべき未来の都市計画を考察する。	全世代が対象になる	成田委員
18	新潟学	にいがた2kmって なに? 私にできることっ て何?	にいがた2kmという言葉は知っていても、なぜにいがた2kmという政策を行うのか。行うとどのような街に変わるのか。するとどんな良いことが生まれてくる可能性があるのかなどを新潟市担当課よりかみ砕いて説明していただきます。 これらの話を受けて、私にできることややってみたいこと、もっとこうなってほしいのでこんなことをしたらどうかなどの提案などを話し合いたいと思います。	全世代 特に中学生から大学生な ど若い世代 高齢者世代	中村 (美) 委員

No.	コース名	講座名	趣旨	主な受講対象者 (世代など)	提案者
19	新潟学	新潟とイザベラ・ バードの旅(新潟 県内編)	明治11年(1878)横浜・東京・日光・会津・新潟・山形・秋田・青森・北海道と旅したイギリスの女流旅行家、イザベラ・バードの新潟県内の足取り(津川・新潟・木崎・中条等)を、各地のまちあるき案内人によってリレー方式で紹介します。(新潟イザベラ・バード研究会がナビゲート)	イザベラバードに興味のあ る人々、観光関係者	野内委員
20	新潟学	新潟とイザベラ・ バードの旅(新潟 県内外編)	明治11年(1878)横浜・東京・日光・会津・新潟・山形・秋田・青森・北海道と旅したイギリスの女流旅行家、イザベラ・バードの足取りを、日光・会津・新潟・山形の案内人によってリレー方式で紹介します。(新潟イザベラ・バード研究会がナビゲート)	イザベラバードに興味のある人々、観光関係者	野内 委員
21		新潟から全国、そ して世界に羽ばた くアスリート育成	近年、新潟を拠点として育成しているアスリートがプロスポーツや世界のトップレベルで戦っている。中央の大きな資源に頼らない新潟独自の育成方法やシステムについて学ぶことで、これからの社会で「人を育てる」ということを考える機会とする。	子育て世代の親 スポーツコーチ 教育関係者 スポーツに興味のある市民	追手 学長
22	生命・自然科学		最近、よく耳にするようになった「DX(デジタルトランスフォーメーション)」という言葉。DXを直訳すると、「デジタルによる変容」となります。DXとは、進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革することを指します。DXの意味や重要性、課題について学びましょう。また、DXを実現し、成果をあげた自治体や競争優位性を高めた企業の事例も紹介します。	対象世代は特にありません	中村 (恵) 委員
23	生命・自然科学	親子で学ぶプログ ラミング	2020年度から、小学校でプログラミングの学習が必修化されています。小学校では、主に物事を論理的に考える「プログラミング的思考」を身に付けることが目的とされています。IT化が進んでいる現代社会、親子で一緒に、楽しくプログラミングを学んでみませんか?	小学生とその保護者(祖父 母等も含む)	中村 (恵) 委員
24	生命・自然科学	宇宙と生命の起源	小惑星リュウグウからハヤブサ2が持ち帰ったサンプルに20個のアミノ酸が含まれていて大きな話題になった。この意味するところを、宇宙や生命の起源と関連して学ぶ機会を提供する。	全世代、若年層	成田委員